

◆少年会……… (㊦) 小田木智嗣委員

- ・11/30 教区少年会総会 教務支庁 西遠支部の役割は11下り目です。少年会員、育成会員のご参加お願いします。
- ・立教183年 お年玉教材 ほんわかクッション 頒価 380円 少年会本部にて販売中
- ◆学生担当……… (㊦) 水野慎治委員
- ・「学生生徒修養会 高校卒業生コース」 募集要項が発表されました。希望者は、早めにお申し込み下さい。(詳細はチラシを)
- ◆時報手配り……… (㊦) 板山眞一委員
- ・12/15号が、本年の手配り最終です。
- ・12/22・29号を合併して、元旦号(直送)となります。お間違えなく。

◇11月 定例支部活動

◆あらみち会……… (㊦) 伊野瀬智之委員

日時 22日(金) 午前9時15分～11時30分

会場 浜七江分教会

講話 伊藤 公一先生

バス ③ポール 鴨江方面行き
教育文化会館西 下車

◆合唱団アヴァンティー練習日

とき 6日・20日(水) 19時

会場 鴨江アートセンター(206号室)

◆浜松楽所……… 11月はお休みです

◇定例委員会・例会

◆運営委員会……… 東濱名尺分

とき 12月2日(月) 午前9時30分

◆おてふり講師研修会……… 翁濱分

とき 12月3日(火) 午前9時30分

◆青年会献血……… 献血ルームミューズ

とき 11月18日(月) 10時00分

◆婦人会例会……… 曳馬分

とき 11月30日(土) 9時30分

◆神名流しをさせていただきます。

9時発の駅前送迎車ご利用ください。

◆女子青年部例会……… 中富分

とき 11月 日() 19時00分

12月9日(月) 19時00分

婦人会総会パレードに向けての練習

◆ハーブの会……… 和平分

とき 11月19日(火) 午前10時

◇12月 支部例会

とき 12月6日(金) 9時30分

会場 和壽分教会(伊佐地町)

住所 浜松市西区伊左地町 3978

電話番号 053-485-5634

当番委員 吉岡 弘和先生

◇各組活動

【1組】……… 組長 鈴木 豊司(濱 東)

〈教会長会議〉 11月28日(木) 19時00分 濱 東

〈班長会議〉 12月6日(金) 16時30分 濱 東

〈ひのきしん〉 12月8日(日) 6時00分 浜松城公園

【2組】……… 組長 板山 眞一(本濱松)

〈合同会議〉 11月29日(金) 10時00分 本濱松

【3組】……… 組長 長田 虎夫(濱 都)

〈教会長会議〉 11月28日(木) 10時00分 濱 都

〈班長会議〉 12月6日(金) 15時00分 濱 都

〈ひのきしん〉 12月1日(日) 7時00分 曳馬南公園

【4組】……… 組長 谷口 和幸(四日市浜)

〈合同会議〉 12月9日(月) 9時30分 四日市浜

【5組】……… 組長 大石いね子(薫浜松)

〈合同会議〉 11月28日(木) 9時30分 薫浜松

【6組】……… 組長 宮本 善成(長 上)

〈合同会議〉 12月9日(月) 19時00分 東濱名

【7組】……… 組長 小楠 友一(静 濱)

〈合同会議〉 12月9日(月) 10時00分 篠原

ふれあい

2019年 11月号 No.423
会部とともよの西遠支

このたすけいかなる事とをもちかな
ほふそせんよのつとめをしへる
第七号—98

これまで培ったものを
引き継いでの組活動を

7組 組長 小楠 友一
(静濱分教会長)

旧南遠支部が、西遠支部7組として、活動を始めて8ヶ月が経ちました。

合併してはどうか、といった話しは、随分前からありました。話がでては消え、消えては出での繰り返しでした。実際には、具体的な話し合いまでには至りませんでしたし、長い間に慣れ親しんだ人達や、気心知れたお互いの位置関係が、大きく変わってしまうかも知れないといった事への不安と共に、そこまで切羽詰まっていはいなかった、というのが多分にあったか

らだと思えます。今回の話し合いを進める時も、

当時、支部長であった自分自身、今ここでやらなくてもいいのでは、といった想いは常に心のどこかにありました。

これまで、役職の掛け持ち、支部内ではお互い様で、それによって、支部の運営に支障をきたすといったほど、切羽詰まっていた状況でもありませんでしたし、そういうものだと思っていました。

しかし、5年、10年先を考えれば、共に考え、動いて下さる人材が揃っている今が、新たな分岐点とするタイミングではないかとの判断から、後押しをして下さる声を得て、支部合併へ

と話は進んでいきました。現在7組には、14ヶ所の教会と共に、常に例会に参加して下さる布教所の方々と、熱心な用木の方達がおられ、組活動が成り立っています。

合併にあたり、意見を聞かせて貰っている時のこと、ある方が「ここは自分の居場所」と言っていたのを思い出しました。南遠支部に対しての想いを改めて言葉にしてもらい、それがとても嬉しかったのです。ですから少しでも不安な部分を取り除いて合併し、違和感なく今後の支部活動を進める事を第一に考えようと、その時改めて思いました。

「何も足さない。何も引かない」とは、某酒造メーカーの古いCMのキャッチコピーですが、新しい出発に当たり、まずは今迄のまま、同じ顔ぶれ

で組として出発させて頂きたいと、こだわったのがこの点です。

4月から共に活動を始め、支部の各部会での参加を促して頂いています。我が支部の事として受け入れ、運べるまでには、しばらく時間が必要だと思えます。この合併がよかつたと言えるのかどうかさえ、今はわかりませんが、合併後スムーズに組の活動が出来るよう、一年前から教区や支部の責任ある方々が、忙しい中話し合いの場を持つて考え動いて下さり、現在滞る事無く、従来通りの活動が出来ているのも、お互いがより良い合併になるよう陰に日向に心を寄せて下さった方々、そこにご理解を頂いた両支部の皆様のお蔭があったからだと、まずはその点に感謝しております。

この場をお借りして深く御礼を申し上げます。支部の教友として、どうぞ今後とも、よろしくお願いたします。



おはなし
中臺勸治 先生

立教181年度 〈陽気ぐらし講座〉

「家庭のよろこび」
～夫婦、親子、嫁姑などの関係を通して考える～ (4)

〔前回「10月」の続きから〕

けれども、その青年の言葉を聞いていて、よくわかりました。お母さんとお父さんが、ケンカばかりしていたんです。親がケンカばかりしていると、子供がどうなるかという、心の中が全然落ち着かなくなり、心がギザギザになるから、「そんな家庭に居たくない」と言って、家を飛び出して来た。ところが、飛び出したけれど、そのような家庭で育った子供は、心が荒れてますから、世間に出て普通になんていけません。二進も三進もいかなくなって、借金だらけで教会にやって来たわけです。そんなことから、教会に住み込むことになり、教会から働きに行つて、心の勉強をして、そして巣立つて行きました。夫婦の仲が悪くなれば悪くなる程、何もかも苦しくなってくる。どうしたら、夫婦が上手くいくのか。もし、分かれた人が居られたら、気にする必要はないですよ。気にすると、おかしくなっちゃいますから、陽気ぐらしの教えをしっかりと心に刻んで通つて下さい。

まずは「夫婦円満」。心の世界、温かい心、思いやりのある心。そういう心の夫婦は、上手くいきます。反対に、攻める心、冷たい心、そういう心の夫婦は、上手くいきません。そうですね、それは誰でもわかりますよ。反省のポイントは、案外、「自分は温かい心」と思っている人でも、冷たい心の人がいるんですよ。相手の欠点に気が掛かる。それは、自分自身にも欠点がある、ということに気が付く、これが大切です。たとえば腹が立ちますよね。腹が立つということは、相手の悪いところに腹が立つ。そうですね、相手が悪いと思わなければ腹は立ちません。でも、相手が悪いから腹が立つのか、よく考えて下さい。「腹が立てるというのは、心澄み切れ、心が澄んだら、人が何ごとと言っても、腹が立たぬ。それが心澄んだのや。この道は、何も心に掛けぬよう、心澄み切る道やで」。腹が立つと相手を責めますけど、本当は自分に腹立ちのほりがある。ここに気が

付く。それが幸せになっていく基。こういうことです。松下幸之助という経営の神様が居られましたが、やはりあそこまで業績を伸ばしたのは、考え方が根底から素晴らしい。彼は、「すべての原因は、外にあるのではなく、内にある」と考えました。会社の具合が悪くつたとします。そうすると、不景気だから、不渡りが来たから、とすぐに人のせいにする。しかしそうではなく、全部うちの方に問題がある。そう考えていったことで、世界一の大企業になっていったんです。たとえば、夫が冷たい、妻が冷たいってありますよね。これを牛乳に置き換えて考えてみてください。普通、冷たい牛乳を「温かくなれ」と、言っても温かくはなりません。温かい牛乳が飲みたかったなら、牛乳を温める。そうですね、それで温かい牛乳が飲める。私も結婚して45年だんだんわかってきた。遅すぎる。もっと早くにわかっていたらよかつたなあ…。今、思うんですよね。(続く)

支部だより

立教182年
R1.11
NO.532

◆本部・教区事項

・表統領挨拶

台風15・17・19号と大きな災害があり、それぞれの教区内においても大なり小なり被害があつただろうと思います。心からお見舞いを申し上げます。今回の被害に対しての募金を開設させていただきました。地域への義援金、被災教区への支援、災害隊の活動の支援に使わせていただきたい。私たちは起こつてくることに対処するのはもちろんですが、やはりお守り頂かねばならない、またお守り頂いていることにお礼を申し上げなければならぬ、日々のつくしとということにもしつかり心を入れて伝えていかないとけないというのが個人的な思いです。
*「天理教災害救援募金」について
天理教道友社が窓口になります。
現金書留による郵送、指定銀行口座への振り込み、道友社窓口への持参などの募金方法があります。詳細は「天理時報」11月3日号を御覧下さい。

□おたすけのためのひのきしんスクール

【講座】

家族への支援 ―虐待の構造と心理―

開催日時：立教182年11月26・27日

会場：南右第2棟3階

受講御供2,000円

対象ようぼく 申込〆切 11/15

◆天理ファミリィネットワーク 第3回
「ひきこもり」「うつ」を考える集い
講演・グループでの話し合い

11/26 13時30分 道友社6階ホール

◆支部事項

◆書籍担当…………… (㊟ 森田康雄委員)

11月の配本については、請求額が従来通りになっていきますが、12月号より増税に伴う価格に改訂させて頂きます。

◆布教部…………… (㊟ 鈴木通信委員)

11/9・10 ようきぐらし講座 開催
講師 幅下大教会長 伊藤芳正先生

お近くの会場でご参加ください。

◆教務部…………… (㊟ 吉岡弘和委員)

・教区宗教法人実務研修会 (10月30日) 135名

今後各種研修会を計画しています。

・財務帳簿申込み 11月18日 受付締切り

◆修練部…………… (㊟ 高橋重徳委員)

・お手振り講師勉強会 12月3日 9時30分

・翁浜分教会にて開催します。

◆ひのきしん部…………… (㊟ 木船嘉弘委員)

◆災害隊…………… (㊟ 山本明久委員)

・台風15号・19号被災地への出動

10月13・16日 千葉教区 (教区から7名)

11月7・10日 栃木教区 (教区募集15名)

両災害に教区よりお見舞金を届けました。

・支部災害準備金からの募金協力について

◆広報庶務部…………… (㊟ 山口正洋委員)

・「すきつと」③④「テーマ」響く」

12/1 発行 定価660円

・ふれあい折り込みひのきしん

12月は5組でお願い致します。

◆婦人会…………… (㊟ 山口さとみ委員)

・10月例会日の「九重荘」ひのきしんには、

多数ご参加を頂き有難うございました。

施設の方にも喜んで頂き、好評でした。

今月は、勇んで神名流しをさせて頂きました。

◆青年会・献血担当…………… (㊟ 山下洋平委員)

11/18 献血ルームミュージズ 10時

声掛けにご協力ください。

11月8・11日 ひのきしん隊3日隊参加